

# 平成25年度 全国地域づくり 人財塾

主催：総務省、市町村職員中央研修所

日程：平成25年10月30日(水)～11月1日(金) (2泊3日)

会場：市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉県千葉市  
対象：市区町村職員及び地域づくりに取り組むNPO関係者等で、全日程を受講できる者  
(途中退寮や一時帰庁はできませんので、ご注意ください。)  
定員：60人(募集人数を大幅に超えた場合は、選考とさせていただきます。)  
宿泊：研修所宿泊棟(宿泊型研修)(外泊はできません。)  
経費：9,870円(左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、懇親会、資料等にかかる費用です。)  
申込期限：平成25年9月20日(金)まで  
申込方法：受講申込書により、FAXまたは郵送でお申し込みください。

(申込様式はホームページよりダウンロード可 : <http://www.jamp.gr.jp/> )

※経費納入方法等につきましては、別途受講決定通知書によりお知らせいたします。

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

研修受講にあたって、事前アンケートに取り組んでいただきます。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

## 開催のご案内

地域活性化においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが大切です。そのような状況を生み出すために必要となる、地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成するため、本講座を開催いたします。地域づくりに熱い志を持つ皆様のご参加をお待ちしております！

地域づくりに実績がある豪華な講師陣、そして熱い志を持つ全国からの参加者と熱い議論をしてみませんか？

【研修内容について】

総務省 地域自立応援課 人材力活性化・連携交流室  
TEL.03-5253-5394

問い合わせ先

【申し込み先】 ※申し込みは、受講申込書のFAXまたは郵送のみとなります。  
市町村職員中央研修所 研修部

〒261-0025 千葉市美浜区浜田1丁目1番地

[ホームページ] <http://www.jamp.gr.jp/>

TEL.043-276-3126 FAX.043-276-8484 (FAXによる申込みはこちら)

- 11:00- 受付
- 11:30- 昼食
- 12:45- 開講・オリエンテーション

13:00-13:15 【講義1:導入・実践事例】

「人材力の活性化について」

総務省 人材力活性化・連携交流室長 大槻 大輔 氏

「地域の人材力」向上の必要性和総務省のこれまでの取り組み、参加者への期待についてお話しします。

13:15-14:10

「都市郊外での地域活動と人材とは」

NPOフュージョン長池 理事長 富永 一夫 氏

「NPOフュージョン長池」の理事長。東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンでしたが、ある日突然会社を辞めて地域に戻り、人と人のつながりが希薄なベッドタウンで少し昔の日本の町ならどこにでもあったような暖かい人間関係を取り戻そうと一念発起。2012年には、緑の年賞(国土交通大臣賞)を受賞。

“都市郊外”の新興住宅地と既存の住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた講師の経験をもとに、どのような点に留意しながら地域活動を展開すべきか、その要諦を講義いただきます。

14:25-15:35 【講義2:実践事例】

「地域課題解決のためのヒント」

NHK制作局 生活・食品番組部 チーフディレクター 黒川 敬 氏

富山県高岡市出身。平成3年NHKに入局。「クローズアップ現代」、「NHKスペシャル」、「生活ほっとモーニング」などを担当。平成15年から「難問解決!ご近所の底力」を担当し、現在は「あさイチ」で主に木曜の「“JAPA”なび」を担当。

地域の難問に悩む全国各地からの要請を受けて、地域の課題解決の方策について、精力的に講演活動を行っている。

番組を通して得た豊富な経験をもとに、地域課題解決のノウハウについて講義いただきます。

15:50-17:00 【講義3:実践事例】

「次世代人材育成とイノベーション創出のエコシステムを地域に生み出すために」

NPO法人ETIC、代表理事 宮城 治男 氏

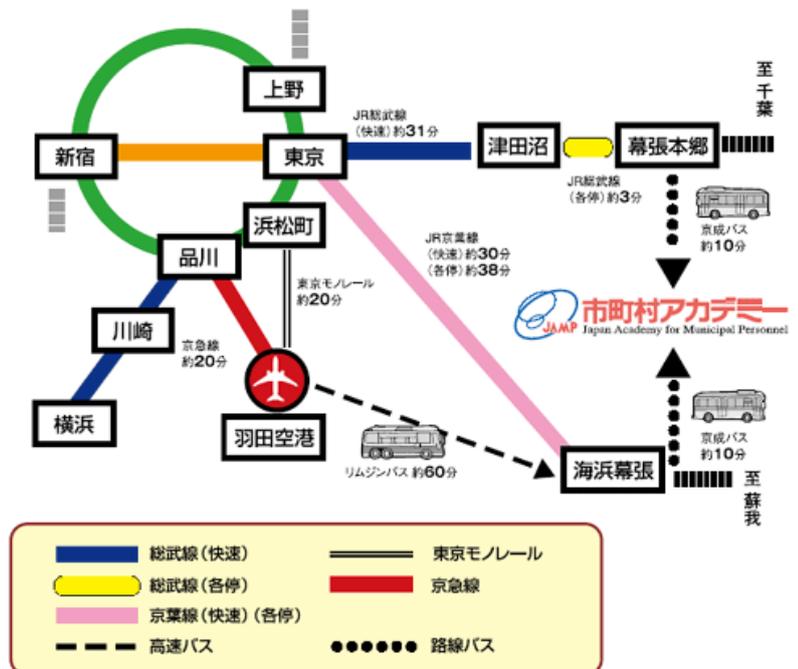
大学在学中に、学生起業家の全国ネットワーク「ETIC:学生アントレプレナー連絡会議」を創設。以来、若い世代が自ら社会に働きかけ、仕事を生み出していく起業家型リーダーの育成に取り組み、これまで300名を超える起業家を輩出。震災復興支援にも注力し、30のプロジェクトにリーダーを送り込み、コミュニティ再生、産業復興等の支援に取り組む。

次世代を担う起業家型リーダーを輩出するため数々の事業を手掛けてきた講師から、地域で必要とされる人材の育成について講義いただきます。

課外 【グループ・トーク】 本日の研修の振り返り  
【懇親会】 18:00～

研修所までの交通のご案内

- 市町村アカデミーは、「幕張メッセ」がある千葉市の幕張新都心の隣接地にあります。
- 東京駅や羽田空港からおよそ1時間の位置です。
- JRで来所される方は、「幕張本郷駅(総武線)」または「海浜幕張駅(京葉線)」が最寄り駅です。
- 詳細は次のアクセス表を参照してください。  
<http://www.jamp.gr.jp/access/index.html>
- 研修生の方は、必ず公共交通機関でお越しください。



平成25年 10月31日(木)

9:00-9:25 【グループ・トーク】 全体での共有

9:25-10:35 【講義4:実践事例】

「『能力を磨く』という人材育成の考え方」 株式会社紡(つむぎ) 代表取締役 玉沖 仁美 氏

幼稚園の先生から株式会社リクルートに転職。中途採用事業部などを経て地域活性部の配属となり、日本各地のモノづくり・観光事業・人材育成事業等、地域コンサル事業に携わる。独立後は、地域産品開発をテーマとした人材育成事業、地域資源を活かした地域産品や観光事業の開発を手掛け、現在も日本各地を出張で飛び回る日々を送る。  
地域にとって理想的な人材を育成するにはどうすればよいかという観点から講義いただきます。

10:50-12:00 【講義5:実践事例】

「地域づくりの新しい風」  
人づくり・拠点づくり・住民総参加のオンリーワンづくり 人間牧場主宰 若松 進一 氏

愛媛県双海町出身。双海町役場に入庁後、国鉄下灘駅のプラットフォームコンサート、ふたみシーサイド公園など双海町の「夕日のまちづくり」を主導してきた。1994年地域振興課長、2003年教育長などを歴任。教育長を最後に役場を定年退職後、双海町下灘の「水平線の家」で人材育成を実践している。2003年国土交通省の観光カリスマ認定。えひめ地域づくり研究会議代表運営委員。  
豊富な経験をもとに、人材育成と地域づくりのノウハウについて講義いただきます。

13:00-17:00 参加者への事前アンケートにより、経験、参加動機等を考慮して、以下の4分科会に分かれて、実践内容を構想します。

【分科会①:実践事例の成功要因を分析する(都市の地域づくり)】 NPOフュージョン長池 理事長 富永 一夫 氏  
『『都市郊外での絆づくり』地域協働の設計図作成方法と人材育成を学ぶ』

【分科会②:実践事例の成功要因を分析する(農村地域の地域づくり)】 柳谷自治公民館長 豊重 哲郎 氏  
『『やねだん』に学ぶ地域経営』

【分科会③:実践事例の成功要因を分析する(人材育成の設計・手法)】 株式会社紡(つむぎ)代表取締役 玉沖 仁美 氏  
『『能力を磨く』という人材育成の考え方』

【分科会④:実践事例の成功要因を分析する(住民と地域担当職員の連携)】 愛媛県中予地方局 地域政策課 前神 有里 氏  
伊予市双海町 地域おこし協力隊 富田 敏 氏  
『まちづくり学校双海人(ふたみんちゅ)に見る協働の仕組み』

課外 【グループ・トーク】 本日の研修の振り返り

【講師との直接対話】 参加者からの質問に講師が応える形式で直接対話を行います。

平成25年 11月1日(金)

9:00-9:25 【グループ・トーク】 全体での共有

9:25-10:35 【講義6:実践事例】

「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」 柳谷自治公民館長 豊重 哲郎 氏

柳谷は、鹿児島県肝属平野に位置し、集落ぐるみで豊かな生き方を目指す小さな「むら」です。土着菌を活用した環境保全型農業や生きた福祉活動が高く評価され、第8回日本計画行政学会「計画賞」の最優秀作品受賞。また、「むらづくり日本一」も受賞。  
全住民参加型の感動の地域づくりを実践している豊重自治公民館長のご経験をもとに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むためのポイントを講義いただきます。

10:50-12:00 【パネルディスカッション】

進行) 総務省 人材力活性化・連携交流室長 大槻 大輔 氏  
パネラー) 山形市 行革推進課 後藤 好邦 氏  
国分寺市 協働コミュニティ課 増本 佐千子 氏  
名護市 地域づくりコーディネーター 深田 友樹英 氏

総務省人材力活性化・連携交流室長のコーディネートののもと、昨年度の「地域づくり人育成講座」の既受講生を交え、地域での取組についてのディスカッションを行います。

13:00-14:10 【成果発表と振り返り】

※ 3日間の研修での体験を踏まえて、「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」をまとめ、行動宣言を行います。